



▲ぴあはーと藤が丘の玄関

東急田園都市線沿線は、有料老人ホームが数多く点在するエリア。藤が丘駅周辺には、7つの施設がある。そうした中で満床施設として6年目を迎えているのが、シニア・エンタープライズが運営する「ぴあはーと藤が丘」だ。

元・独身寮をハイテク施設に

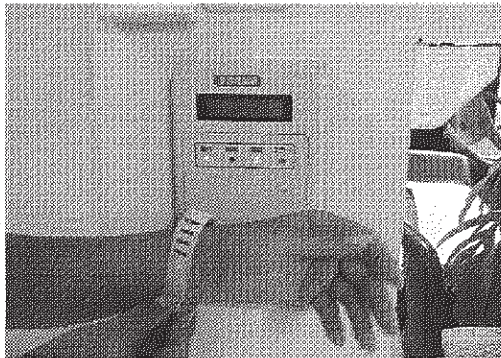
平成12年6月に開設し、翌年1月以来入居率100%を確保し続けている有料老人ホームが、「ぴあはーと藤が丘」(神奈川県横浜市)だ。

東急・田園都市線の藤が丘駅前にある同ホームは32室32名の規模。「なかなか部屋が空かないため、入居待機者は12名ほど」(岡崎公一朗施設長)と、最寄り駅周辺に7ホームがひしめき合う中で異例の人気を誇っていると言えらる。

藤が丘駅は渋谷駅から電車ですら36分の距離にあるが付かないほどの施設の魅力を一つが、元・独身寮の外観からは予想がつかないほどの施設の

ぴあはーと藤が丘 (神奈川県横浜市)

ハイテク装置で介護に注力



ハイテク性にある。「当然施設が人気を得ているのから玄関口をチェックでは、館内随所に漂うハンカチ、例えば入居者の家族ドメイドの温かみ、加えてハイテクに裏付けられた安全・安心感によるものが大きいと言えます」と、岡崎施設長は話す。

「ハンドメイドの温かみ、というのは、施設長自身のお手製機器があちこちに設置されていることを指している。自労力が不足している際に作装置には「岡崎電機製」備えたものなのです」

「このほか、各寮部分に装着した震動で音を発する防犯装置、人感センサーを利用したクーラーや電灯の省エネ装置、屋上庭園の植木などに定期的に水を与える給水装置など、多様だ。」

岡崎施設長は頻繁に秋葉原に通い、施設に必要な装置、介護者が介護に専念できるためのシステム、入居者に楽しんでもらえる道具を「開発」する。施設のハイテクな部分はさることながら、こうした岡崎施設長の入居者への献身的開発と、遊び心が生み出す施設内の雰囲気も、「ぴあはーと藤が丘」の人気を支えているようだ。

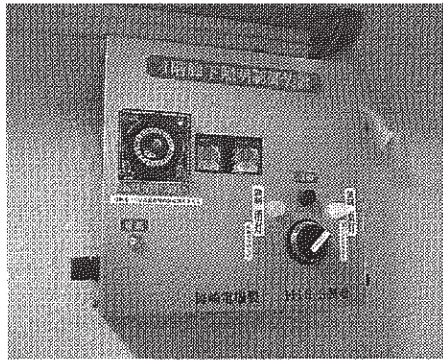
開設8カ月目から満床ホーム

新興住宅エリアだ。駅から徒歩1分以内で着ける施設周辺は総合病院、リハビリ専門病院、ショッピングセンター、公園などに囲まれているなど、「ぴあはーと藤が丘」には立地の利点がある。しかし同様の立地で苦勞している施設は少なくないし、同施設は新築施設ではない。

入居者の心を捉まえている魅力の一つが、元・独身寮の外観からは予想がつかないほどの施設の

40台以上稼働の「岡崎電機製」装置

施設に入るときにまず目にする「岡崎電機製」装置は、玄関入り口にある自動ドア開閉の人感センサーだ。これはカラオケの機器も岡崎施設長自



▲「岡崎電機製」ロゴ入りの、電灯省エネ装置